

## 山田洋次さんに豊中市名誉市民称号を贈呈

### 豊中市議会 6 月定例会で議決

豊中市は、市制施行 80 周年にあたり、豊中市出身の映画監督・脚本家の山田洋次さんに名誉市民称号を贈呈するため同市市議会に議案を上程し、6 月 1 日の議決により決定されました。

同市の名誉市民称号贈呈は、ノーベル物理学賞受賞・南部陽一郎さん（平成 27 年（2015）7 月 5 日逝去）に続き第 2 号となります。

称号は、市制施行日の 10 月 15 日に、豊中市立文化芸術センター（10 月 10 日オープン）で開催する記念式典で贈呈する予定です。

#### 経過 ～豊中市名誉市民選考委員会の審議を経て市議会に上程

平成 28 年 3 月 第 1 回豊中市名誉市民選考委員会（会長＝宮本又郎・大阪大学名誉教授、委員 5 人）を開催。市長から同委員会へ諮問

平成 28 年 4 月 同委員会から市長へ答申

平成 28 年 6 月 1 日 豊中市議会 6 月定例会本会議で議決



©2016「家族はつらいよ」製作委員会

#### 山田洋次さんと豊中市との主なかわり

山田さんは豊中市に生まれ、2 歳で満州に渡るまで同市で過ごされました。その生家が同市に現存しており、生家の特徴である赤い大きな三角屋根は、映画「小さいうち」の家のモデルともなっています。平成 26 年には、市民グループ「とよなか山田会」の初代表・能登宏之さんや同市の申し出により、山田さんが生家を訪れました。

昨年の平成 27 年には、浅利敬一郎豊中市長との対談（広報とよなか平成 28 年 1 月号）を行い、その中で山田さんは「豊中の家から僕の歴史は始まったと感じた」と語っています。



#### 豊中市名誉市民について

豊中市名誉市民条例に基づき、社会の発展に卓越した功績があり、広く市民が敬愛する市ゆかりの人に名誉市民称号を贈呈しています。市長があらかじめ名誉市民選考委員会の意見を聴いた上で、議会の議決を得て決定するもので、第 1 号の南部陽一郎さんには平成 23 年 10 月 15 日に贈呈しました。

#### 今後の予定

- ・山田さんの全作品 DVD を集めた記念ライブラリーの開設や、「とよなか山田会」（代表＝武市進さん）と市との共催による映画会の開催などを予定。
- ・10 月 15 日 名誉市民称号贈呈式を開

【問合せ先】政策企画部秘書課

担当：小原 TEL 06-6858-2008